

廃プラスチックのケミカルリサイクルの最新動向

◆日時: 2025年07月15日(火) 13:00~17:00

◆会場: 【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます

◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: アイシーラボ 代表 室井 高城 氏

欧州の廃プラスチックリサイクルは、廃プラスチック汚染対策だけではなく、資源削減を目的で進められている。既に、廃プラの混合使用が義務付けられ、自動車産業も廃プラの使用が義務付けられようとしている。又、国連環境総会は、今年末までに国際的な法的拘束力のある国際プラスチック条約を作成する作業に取り掛かっている。日本は、遅ればせながら、廃プラの液化プラントが稼働し始めようとしている。しかし、まだまだ足りないのである。このままでは、日本は、欧州の廃プラスチックのリサイクル対策に完全に遅れをとってしまう。対策の最も急がれるのはケミカルリサイクルで、液化によるナフサ利用と、解重合である。更に、廃プラスチックから直接モノマーへの分解技術が開発されなければならない。欧米では、液化困難な都市ごみなどと混合したプラスチックは、ガス化して合成ガス(CO/H₂)として、メタノールやエタノール、航空燃料などの製造が始まっている。リサイクル技術の最新の技術を解説するとともに欧米の動向、そして動き出した日本のやらなければならない廃プラのリサイクル技術を解説する。

1. 廃プラリサイクル規制と現状

1.1 世界の廃プラ規制 1.2 日本の廃プラ規制

1.3 容リ法

2. 廃プラの化学的メカニカルリサイクル

2.1 廃プラの選別技術

EREMA, TOMURA, プラニック etc.

2.2 廃ポリスチレンの水平リサイクル 2.3 ポリオレフィンボトルのリサイクル

2.4 ポリプロピレンの溶媒抽出によるリサイクル

2.5 フィルムの脱インキ技術

2.6 添加剤による廃プラのアップグレード

3. 廃プラのケミカルリサイクル技術

2.1 PETのリサイクル技術 溶融重合, 解重合(着色ボトル, PET繊維), 海外技術

2.2 廃ポリスチレンのケミカルリサイクル

2.3 廃PMMAのケミカルリサイクル 2.4 ポリ乳酸のリサイクル

2.5 ナイロンのリサイクル 2.6 ポリカーボネート, 他

4. 廃プラの熱分解

4.1 熱分解の方法

4.2 塩素の除去

4.3 熱分解試験方法

5. 廃プラの液化

5.1 廃プラから燃料油の合成

5.2 廃プラからナフサ原料の製造

Quanta Fuel, Mura Technology, etc.

5.3 世界の廃プラリサイクル会社の動向

BASF, Dow, NESTE, Shell, ExxonMobil, LyondellBasell, SK, インドラマ, etc.

5.4 マスバランス方式

5.5 動き出した日本のケミカルリサイクル

三菱ケミカル, 三井化学, 出光興産, 住友化学, etc.

6. 廃プラから化学品の合成

6.1 廃プラから軽質オレフィンの製造(モノマー化) 6.2 廃プラから芳香族の製造

6.3 廃プラからアスファルト改質材の製造

6.4 廃プラから界面活性剤の合成

7. 廃プラのガス化

7.1 廃プラガス化による合成ガスの製造

7.1.1 廃プラから水素の製造

7.1.2 廃プラ合成ガスの精製

7.1.3 サワーシフト反応

7.2 廃プラガス化合成ガスから燃料油の合成

7.2.1 廃プラからFT合成による燃料油の合成

7.2.2 廃プラMTGプロセスによる燃料油の合成

7.3 廃プラガス化による合成ガスから化学品の合成

7.3.1 廃プラガス化水素からアンモニアの合成

7.3.2 廃プラガスからメタンの合成

7.3.3 廃プラからメタノールの合成 (Enerkem)

7.3.4 廃プラからエタノールの合成 (積水化学)

7.3.5 エタノールからエチレンの製造

7.4 廃プラ含有都市ごみから航空燃料の製造

Furclum, LanzaJet, Shell

8. 廃プラのケミカルリサイクルビジネスの展望

8.1 都市ごみ焼却との組み合わせ

8.2 廃プラケミカルリサイクルビジネスの展望

9. Q & A

『廃プラスチック【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● Webセミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしていませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>